

授業科目の区分	専門分野《小児看護学》				
授業科目	小児看護概論				
開講年次・学期	2年次・前期				
単位（時間）	1（30）				
担当講師	①《所属：倉敷中央病院 小児科医師》 ②《専任教員》看護師としての実務経験あり				
科目のねらい	成長発達過程にある小児各期の特徴と家族について学習し、小児看護の役割について理解する。成長・発達過程にある子どもと家族及び、子どもが生活している社会について理解し、子どもの最善の利益を守るかわりについて学ぶ。				
到達目標	小児看護の対象である子どもの成長発達段階が理解でき、各期に応じた養育・看護が理解できる。				
授業計画	1. 小児看護の対象とその特徴 1) 成長・発達とは （1）成長・発達の原則 （2）成長・発達の進み方 （3）成長・発達に影響する因子 （4）発達の評価 2) ライフサイクルからみた各期の成長発達 （新生児期・乳児期・幼児期・学童期・思春期） （1）形態的特徴 （2）身体生理の特徴 （3）精神・運動機能の発達 2. 小児と家族を取り巻く社会 1) 各種法律と政策 2) 学校保健 3) 予防接種 4) 病児教育				①
	回	方法・内容	事前学習	事後学習	②
	1	小児看護の対象と目標 ・子どもの発達課題 ・小児と家族の諸統計 ・小児看護の目標	・成長ヒストリー	・授業内で提示	
	2	子どもの権利と社会 ・子どもの権利 ・子どもを取り巻く社会	・現代の社会と子どもの権利について考える	・授業内で提示	
	3	各成長発達段階の特徴と養護及び看護 （新生児・乳児期） ・各成長発達段階の発達課題と特徴	・自己のエピソードをもとに新生児・乳児期の成長発達を調べよう	・新生児、乳児期の成長発達についてまとめる。	
	4	各成長発達段階の特徴と養護及び看護 （幼児期） ・各成長発達段階の発達課題と特徴	・自己のエピソードをもとに幼児期の成長発達を調べよう	・幼児期の成長発達についてまとめる。	
	5	各成長発達段階の特徴と養護及び看護 （学童・思春期） ・各成長発達段階の発達課題と特徴	・自己のエピソードをもとに学童・思春期期の成長発達を調べよう	・学童・思春期の成長発達についてまとめる。	
	6	子どもと栄養	・離乳食について調べる	・各期の栄養についてまとめる。	

	7	子どもの安全 ・子どもの視野を体験 ・事故と成長発達	・チャイルドビジョン の作成	・調べた子どもの事故 がなぜ起こったのか、 子どもの成長発達段 階の特徴を踏まえて 考えよう。	
必携文献	1) 奈良間美保編：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児看護総論，医学書院，2020. 2) 奈良間美保編：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論，医学書院，2020.				
参考文献	1) 厚生統計協会編：厚生指標 国民衛生の動向				
成績評価方法	①②終了試験を行い、それぞれ6割以上を合格とする。				
備考					

授業科目の区分	専門分野《小児看護学》			
授業科目	小児看護実践演習（健康障害をもつ小児の看護展開）			
開講年次・学期	2年次・後期			
単位（時間）	1（15）			
担当講師	《専任教員》看護師としての実務経験あり			
科目のねらい	健康障害を持つ患児が健やかな成長発達を遂げられるための看護展開について理解する。本科目は、小児看護概論、小児臨床看護Ⅰ・Ⅱの学びを統合させながら、気管支喘息に罹患した患児およびその家族の事例をもとに看護を展開していく講義で構成している。一人の患児の事例に沿って、急性期・慢性期という健康レベル、幼児期・学童期という発達段階にある患児と家族への看護を理解していく。また、実践を行うために必要な学習を主体的に行い、看護実践者として必要な学習スキルの獲得も目指していく科目である。			
到達目標	紙上事例をもとに健康障害を持つ小児を理解し、健やかな成長発達のための看護展開について理解する 1) 小児の成長発達段階を理解するための視点を述べる 2) 幼児期・急性期に必要な看護について根拠をもとに説明する 3) 学童期・慢性期に必要な看護について根拠をもとに説明する 4) 健康障害を持つ患児家族への看護について説明する 5) 健康障害を持つ子どもの健やかな成長発達を遂げるための看護の在り方について考えを述べる			
授業計画	回	方法・内容	事前学習	事後学習
	1	講義 1) 授業ガイダンス ・小児看護実践演習の進め方と評価方法 2) 事例患児における成長発達の12の視点	成長発達シート	追加修正などを行い、授業翌日に提出
	2	演習（実践演習）《実習室・デブリーフィング室》 「気管支喘息：幼児期・急性期の看護①」 ・気管支喘息を発症した幼児への観察とアセスメント	日々の実践シート	追加修正などを行い、授業翌日に提出
	3	演習（実践演習）《実習室・デブリーフィング室》 「気管支喘息：幼児期・急性期の看護②」 ・気管支喘息を発症した急性期患児への苦痛緩和・症状緩和のための看護 ・健康障害、入院による成長発達・生活に及ぼす影響を最小にするための看護	日々の実践シート	追加修正などを行い、授業翌日に提出
	4	演習（実践演習）《実習室・デブリーフィング室》 「気管支喘息：学童期・慢性期の看護」 ・学童期における退院後の自己管理に向けた看護	日々の実践シート	追加修正などを行い、授業翌日に提出
	5	演習（実践演習）《実習室・デブリーフィング室》 1. 事例患者における家族への看護 ・健康障害、入院が家族に与える影響とその看護 1) 乳児期・急性期の看護 2) 学童期・慢性期の看護	日々の実践シート	振り返り
	6	演習 グループ8G（5～6人） ・発表に向けた準備	関連図または看護計画	・グループ課題
	7(1h)	低出生体重児の看護 1) 低出生体重児の看護の役割 2) 低出生体重児の環境 3) NICU入室中の看護 4) 家族への看護	低出生体重時の生理学的特長の学習	1500gの低出生体重児への看護を考える
	8	全体カンファレンス：4Gのみ発表 ・1G×20分 ・発表当日までに資料を読み、質疑応答ができる準備をしておく	・発表資料を読みカンファレンス準備を各自行う	

必携文献	1) 奈良間美保編：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔1〕小児看護学概論 小児看護総論, 医学書院, 2020 . 2) 奈良間美保編：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論, 医学書院, 2020.
参考文献	
成績評価方法	1) 評価 ・各提出物 80 点 出席状況と学習への取り組み 20 点の合計して 6 割以上で合格とする。 2) 最終提出物 ①～⑥を順番にホッチキスで綴じて、氏名・番号を記入した透明ファイルに入れて提出 ①成長発達シート【第 1 回】 ②日々の実践シート【第 2～4 回講義】 ③個人で立案した関連図または看護計画（追加・修正したもの） ④目標 5 に対するレポート（A4 レポート用紙 半分以上） 「健康障害を持つ子どもの健やかな成長発達を遂げるための看護の在り方」について考えを述べる ⑤自己評価表 ⑥自己学習（レポートやノートなど形式は自由） 3) 不合格者 別事例での看護展開および不合格になった状況により個別の課題を提示
備考	